

新

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

180ページドラマおきたいのでずい
読書日より 1冊がいよいよにでませんか？

モリモリ書店

第29話 R01.09.05(木)

「人と違っていて、
悪いことなの？」

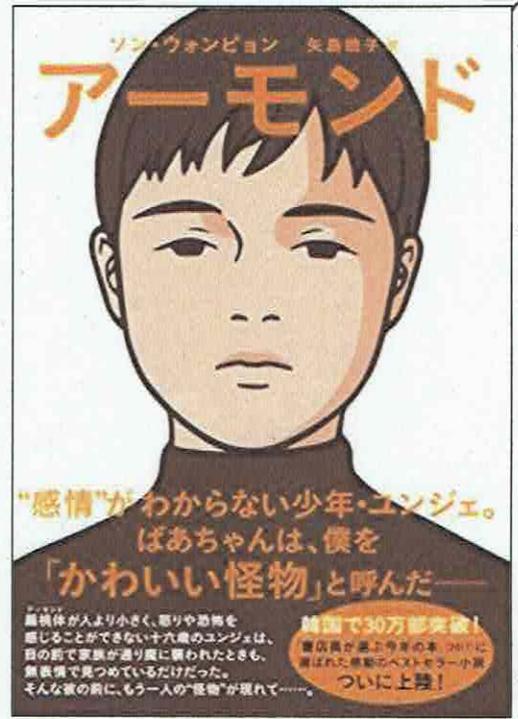
★今回、紹介する本は、『アーモンド』（著/ソン・ウ
オンピョン、訳/矢島暁子、出版/祥伝社）です。

今回は、韓国でベストセラーの小説を紹介。「アー
モンド」とは、脳の中の「扁桃腺」を指します。

この作品の主人公ユンジェは、「扁桃腺」が人より
も小さいため、あらゆる感情を感じることができな
い、いわゆる「失感情症」という設定。

もちろん、他人の感情もわからず、まわりからは
「怪物」と呼ばれてしまう悲しい境遇。

ユンジェは目の前で家族が通り魔に襲われても、
何も感じることができず、孤立していく。そんな中、
ユンジェの前にもう一人の「怪物」が現れるー。



韓国文壇の新星、ソンの代表作。40歳を超えても、ユンジェの物語は、

最初は、「サイコパスの話？」と思わせながらも、そうではなく、ユンジェの成長
物語になっているところが魅力です。人の心を理解することの意味や、誰かをありの
ままに受け止めることの意味を問いかけてくれる1冊です。K文学をぜひどうぞ。

『アーモンド』

★

『発達する、ていうのは、
変わる、ていうことですか？』

人の心をきかぬ
って、本当にダメなこと
なのかな。なぜ
こんなに自分と
違う存在を受け
入れられなくて
かしいのかな？
いろいろ考えさせ
ます。

『人とていうのは、
自分達と違う人間
がいるのが、許せない
もんなんだよ。』

(p.252)

(p.21)